

加太小学校だより

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和7年
9月30日
No.12



実りの秋！子どもたちの更なる成長を！

涼しく澄んだ秋の空気が心地よい季節となりました。10月から11月にかけて学校では、運動会や社会見学、収穫祭、音楽会、150周年記念事業など、多くの行事が目白押しです。

行事は、子どもたちにとって、教室での学習だけでは得られない多くの学びの場です。仲間と協力することの大切さ・難しさ、役割を果たす責任感、そして何よりも、目標に向かってひたむきに努力することの重要性を肌で感じ取ることができます。しかし、その成長の鍵を握るのは、「チャレンジする気持ち」と「努力」です。新しいことに挑戦することを恐れず、苦手に思うことにも粘り強く取り組む姿勢は、子どもたちの可能性を大きく広げます。「できなかったらいやだ」「失敗したくないから挑戦しない」などと、最初から否定的に考え、逃げてしまえば、何も生まれません。成功体験はもちろん、時には悔しい思いをした経験も、子どもたちの成長には大切なものになります。

「挑戦する心」と「努力する姿勢」を忘れずに、様々な行事に向けて取り組みながら大きく成長していったほしいと思います。ご家庭でも、子どもたちの頑張りや、新たに挑戦していることについて話題にさせていただき、温かく見守っていただければ幸いです。実りの秋、そして子どもたちの成長と挑戦の秋を、共に喜び、支えてまいりたいと思います。



学習したことを忘れないように、復習する習慣づけを

子どもたちは、毎日新しい知識や経験を積み重ねています。学校での学びをより深く、確かな力にするために、「復習」が非常に重要になります。授業で「わかった」と思っても、そのままにしておくと記憶はどんどん薄れてしまいます。しかし、家庭で短時間でも見直しをするだけで、忘れかけた知識を呼び戻し、記憶を強固に定着させることができます。また、授業で学んだことを自分の力で解き直してみる「アウトプット」の作業が、「わかる」を「できる」に変え、理解を深めることになります。

今後も、子どもたち一人ひとりの成長を学校と家庭で支え、見守っていきたいと思いますので、ご家庭での励ましや声かけなど、温かいサポートをどうぞよろしくお願いいたします。



Kameyama Study Week に取り組みました

本校では、「Kameyama Study Week」の期間中に次のような取組をしました。子どもたちは、授業中、集中して取り組んでいましたが、既習事項を忘れてしまったり、考えながら聞くことが苦手であったりする様子も見られました。一人ひとり得意分野は違いますが、これらの力は、全ての学習の土台となりますので、継続して今後も取り組んでいきます。

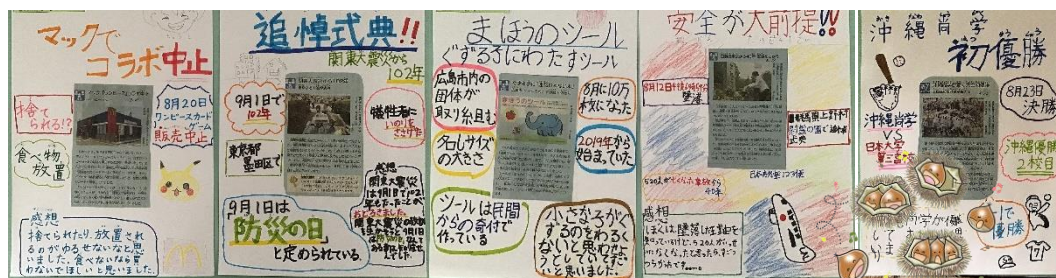
はじめをつけて学校生活を送ること

- ・学習規律やチャイム席、学習準備の徹底

聞く力や読む力をつけること

- ・聞いたことを再度、答える場面を設定する。⇒聞いたことを再度言うてみる。
- ・友だちの発表と比べながら聞き、類似点や相違点を言う。
- ・相手が何を伝えたいのか考えて聞く。
- ・傾聴スキル（うなずきや短い言葉での相槌など、反応をする）を習得する。
- ・読書時間を確保する。
- ・ミニ切り抜き新聞づくりをする。

（新聞記事を読み、5W1H など記事の内容を要約して吹き出しに書く。見出しと感想を書いたら完成）



家庭学習の習慣化

- ・家庭と連絡を取り合い、毎日確実に宿題をするように取り組む。
- ・既習事項を確実にものにするために、毎日、キュービナに取り組み、復習する。

稲刈り集会をしました

9月17日（水）に、全校児童と保育園の年長児さんが一緒に稲刈りをしました。最初は、戸惑っていた子どもも、だんだんとコツを覚え、稲を鎌で刈ることに慣れてきた様子でした。稲を刈り取った後は、全員で落穂拾いをしました。みんなで協力して稲刈りを終えた子どもたちは、満足気でした。今年は、昨年よりも豊作で162kgの収穫となりました。

この学習活動を行うにあたって、保護者や地域の皆様には、草刈りや稲刈り作業へのご協力をいただきありがとうございました。

